



秀入

卷中通理齋

二

二



入選13
1651
2





田前

花重連理鱒

寫此海

二乃卷



○心志心晴がりゆり

出されぬ継母乃

推引條

○大殿の船とぬまゆり

一揃んかたてり

Handwritten text in cursive style, including a circular seal impression.

目と奴

○御家も多しとしひを照く

しけ書も奇特

○字もくさけり

らんく麗口

う味乃有一

周乃翁

人間乃榮枯一樹りうり目出ふひねりさう
まいよもりらあり海のいづこ乃あうはちちや
のやういよあさるりるびくあの中ちんあひん
そ中よまももも非もあさる乃そのあもあはく
ともももさうれん長もあさるの沸せんよあはけん
内苑そ外中もあさる海に武もあさるいづくのせん
二月うがいあさるもたもあさるてはあもあさる人形
練えの衣んもあさるもあさるもあさる一月よりあさる
ねんらんあさるあさるあさるあさるあさるあさるあさる

中へ一歩あんなおのいしうと叫く五人の思をたぬ
さんぞうはてをさるれうりちうと大をうらけ
かまひもあつたうらうらうらうらうらうらうら
とやていあつたうらうらうらうらうらうらうら
あまうらうらうらうらうらうらうらうらうら
なちのまひもあつたうらうらうらうらうらうら
引すあつたうらうらうらうらうらうらうら
きりらうらうらうらうらうらうらうらうら
ぢらあつたうらうらうらうらうらうらうら
それよはぢんくやうらうらうらうらうらうら
せもそはぢんくやうらうらうらうらうらうら
であつたうらうらうらうらうらうらうら

そくとまけけんうらうらうらうらうらうら
まもつとまもつとまもつとまもつとまもつと
ひめのおつたうらうらうらうらうらうら
あれまもつとまもつとまもつとまもつとまもつと
せうらうらうらうらうらうらうらうらうら
だんのおつたうらうらうらうらうらうら
このまもつとまもつとまもつとまもつとまもつと
せうらうらうらうらうらうらうらうらうら
ふらうらうらうらうらうらうらうらうら
あつたうらうらうらうらうらうらうら
かまひもあつたうらうらうらうらうらうら



あらさらしきうのうけをいかにやうまゆらやうけん
おのひさの想いすまのころげが武あまのあまあ
一たがのさうさききくねまはねむしきさうさき
一筋のつゆのめららうら一のさうち場りやうあやうや
さうさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき
内氣がさきさきさきさきさきさきさきさきさき
さきさきさきさきさきさきさきさきさきさき
んを命りよまきさきさきさきさきさきさきさき
さきさきさきさきさきさきさきさきさきさき
かはあまをさきさきさきさきさきさきさきさき
いさささきさきさきさきさきさきさきさきさき
さきさきさきさきさきさきさきさきさきさき
さきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

さきさきさきさきさきさきさきさきさきさき
後をさきさきさきさきさきさきさきさきさき
たらさきさきさきさきさきさきさきさきさき
さきさきさきさきさきさきさきさきさきさき
けさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき
け武あまがけいさきさきさきさきさきさきさき
一あまさきさきさきさきさきさきさきさきさき
さきさきさきさきさきさきさきさきさきさき
らね海江とさきさきさきさきさきさきさきさき
むさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき
ねさきさきさき

目く奴

所あるをいふれいよほくしゝるをいふむとたゞ一
にれども候儀はうをいふせはありさすけふ長
トやとれめらるといふれいよほくしゝるをいふ
たのみれとらとらとらとらとらとらとらとらとら
けいぶの里の子たちや田舎にすくをうめけけ
よりとあびていふれいよほくしゝるをいふむと
アとしていふとらとらとらとらとらとらとらとら
肉を海にゆぐらありつあらぬのりまのりたら
いそくすくすいれたりとらとらとらとらとらとら
さくすくすくすくすくすくすくすくすくすくすくすく

めはくしゝるをいふむとたゞ一
その御子の里のうをいふせはありさすけふ長
とらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとら
やうにありとらとらとらとらとらとらとらとらとら
候むとらとらとらとらとらとらとらとらとらとら
いよほくしゝるをいふむとたゞ一
あくくくくくあくくくくくくくくくくくくくく
いよほくしゝるをいふむとたゞ一
のぶくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
いよほくしゝるをいふむとたゞ一
のぶくくくくくくくくくくくくくくくくくくく



もたぬしとていふことありしとていふものの中よとあり
まをうーこれいふやうにあらねこのいひとていふことあり
とたぐたづひらつたれはすしひのありありきうのこそ
れがとておのゝおのゝいふことありしとていふもの法
せんやとていふことありしとていふことありしとていふこと
せしとていふことありしとていふことありしとていふこと
あけなまのいふことありしとていふことありしとていふこと
申しなりしとていふことありしとていふことありしとていふこと
世を命ねしたるいふことありしとていふことありしとていふこと
よとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
まうら井とていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
まとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと

けんといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
まをたるといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
けだんといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
ざれといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
せといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
かといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
たといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
わといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
まといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
らといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと
しといふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふことありしとていふこと

のまゝおぼひくらきくからんか
れびと今あつたのあつたはさ
がもておぼひくらきくからんか
海にうもておぼひくらきくからんか
びらうこのたをておぼひくらきくからんか
よりおぼひくらきくからんか
一お中よおぼひくらきくからんか
りお中よおぼひくらきくからんか
はらお中よおぼひくらきくからんか
父がかつたおぼひくらきくからんか
うらお中よおぼひくらきくからんか
さうお中よおぼひくらきくからんか

うらお中よおぼひくらきくからんか
すまお中よおぼひくらきくからんか
てお中よおぼひくらきくからんか
はらお中よおぼひくらきくからんか
ちよお中よおぼひくらきくからんか
そのお中よおぼひくらきくからんか
大あお中よおぼひくらきくからんか
がお中よおぼひくらきくからんか
をらお中よおぼひくらきくからんか

